

耐震強度偽装問題で知事に申し入れ

2005.11.24

公明党議員団は11月24日、姉齒建築設計事務所（千葉県）がマンションやホテルなどの構造計算書を偽造した問題が大きな社会問題になりつつあるなか、同問題に関して知事に申し入れを行いました。

埼玉県は埼玉県建築士事務所協会など関連団体に適正な業務を行うよう指導するなど必要な措置を講じたところですが、県民の生命と財産に直結する問題であり、構造計算書の偽造が断じて行われないようにするとともに、建築確認事務を行っている県内2団体に対する指導や監視など必要な対応を強化することを求めました。

今回の問題では、同事務所が1996年以降に設計した193件のなかに、川口市のマンションが含まれていたことが判明し県内にも影響が及んでいます。同マンションについては構造計算書の改ざんはなかったことが明らかになりましたが、マンションに住んでいる県民の間に不安が広がることも懸念されます。

また、建築確認を行う民間の指定確認検査機構のずさんな検査体制や自治体である平塚市が偽造を見抜けなかったことなどが明らかになるにつれ、建築確認体制の抜本的な見直しを求める声も強まっています。